

♪ 2022年度 **poco a poco** ♪

Nr. 7 2022年6月13日(月)

文責:プファイル・辰巳

**みんな集まれ、ミニコンサート!**  
~1学期ミニコンサートご案内~



<ミニコンサートって何?>

ミニコンサートというのは、日本人学校の子ももちろん、小学生でも中学生でも、希望すれば出演できるコンサートです。一人で得意な楽器を演奏してもよし、独唱もよし。またお友だち同士で合奏したり、クラスの間など音楽の時間に習った曲を発表したりしてもかまいません。特別に上手でなくてもよいのです。普段の音楽活動の発表の場になればと思っています。発表するだけでなく、お互いの演奏を聴き合う場でもあります。

今年度もコロナ感染対策は続けながらのミニコンサート開催となりますので、注意事項をよくお読みくださいますようお願い申し上げます。

<1学期のミニコンサートはいつ?>

**7月7日(木) 午後2時30分** からです。

- ・ 入場の際して3G等チェックはありません。
- ・ ご自分のお子さまの学年の発表だけを、音楽室内で聴いていただくようになります。学年ごとの入れ替えの時間は短くしかとりませんので随時、速やかに入退室をお願いします。
- ・ 上のお子さまの出演までの時間は、各学年の教室(1・2組どちらか)で、親子で待機できるようにします。教室では音楽室の様子が見られるようにセッティングいたします。不具合が出た場合は、近くの教室に見に行ってください。(今回、

ロビーのモニターによる視聴はありません。) お子さまの出演が終わりましたら、速やかに下校してください。

<ミニコンサートの申し込み方法は?>

申し込みは参加希望票に必要なことを記入して切り取り、提出してください。(その関係で、今回は印刷して配布します。) 予備の参加希望票は、期間中、職員室の辰巳の机の上に置いてあります。必要な場合は申し出てください。

低学年の子もたちの場合は、曲名などを書くのが難しい場合もありますので、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。記入済みの用紙は、締め切りを守って、必ず辰巳まで提出してください。

<申し込み受付期間は?>

**6月15日(水)から6月23日(木)まで**

プログラム作成後は追加の申し込みには一切応じかねますので、必ず締め切りを守ってください。期末テストや行事などもありますので、早めに見通しを立てて申し込みを済ませ、計画的に練習に取り組んでください。

ソロ楽器の伴奏を希望される場合は、6月20日(月)までに各学年の音楽を担当している先生まで、楽譜を添えてご相談ください。技術的・時間的な問題から、全てのご要望にお応えできないこともありますので、ご了承ください。

(普段の授業で学習している曲の伴奏は、この限りではありません。随時お引き受けできます。)

<出演回数等のルール>

希望する人みんなが出演できるようにするには、いろいろなルールも必要になってきます。申し込みの締め切りを守るのもその一つですが、他にも下記のようなルールを守ってください。限られた時間の中で、みんなが気持ちよくお互いの演奏を聴き合うための約束です。

- (1) 1人(あるいは1グループ)の演奏は1曲のみ。時間は長くても3分程度とします。(短くても1曲。短いから2曲弾くというのではありません。) 選曲が難しくなるのは承知の上ですが、習い事の発表会とは趣旨が違いますから、ご理解ご協力をお願いします。

- (2) 1度のミニコンサートに1人の児童生徒が出演する回数は2回までとします。(ソロ出演とクラス出演、またはアンサンブルとクラス出演など)
- (3) ソロ出演は、年間3回のミニコンサートの内1回とさせていただきます。お友だちとのアンサンブルも今年度より1回とします。  
(つまり、個人の部ではソロとアンサンブルで年間2回出演できます。クラスの発表については、每学期出演することが可能です。)
- (4) 演奏と演奏の間の出入りは自由ですが、速やかに願います。途中から聞く、途中で帰宅するというのもかまいません。
- (5) 個人的な理由によるプログラムの順番の入れ替えには応じられませんのでご了承ください。プログラムは学年順に組んでいきますので、高学年の人は出演時刻が遅くなります。そのことも考え合わせて、参加するかしないかを決めてください。
- (6) 兄弟姉妹、あるいは学年を超えてのアンサンブルをされる場合は、上の学年のプログラムに入れさせていただきます。
- (7) 保護者の皆様へのお願い  
**子どもたちの主体性を大切に:**「個人の部で出演するのか」「どの曲を演奏するのか」「誰と出演するのか」…準備に当たって、特に低学年の子どもたちには、保護者の皆様の助けを受ける場面も多々あるかと思いますが、なるべく以下のことに留意してください。そして、子どもたちが**主体性を持って、なるべく自分たちのできる範囲で**取り組めるようにご支援ください。
- ① 出演については、「この演奏を聞いてもらいたい」という目的意識をしっかり持ち、「お友だちが出るから」ではなく、「出演するなら一人でもやる」くらいの気持ちを持って申し込みしてください。
- ② 選曲については、授業で習った曲などを中心に無理のないようにしてください。背伸びをして失敗するよりは、余裕を持って演奏できる曲にしてください。(ソロの演奏はできれば暗譜が望ましいです。)

- ③ おそろいの衣装や小道具などは必要ありません。任意で用意する場合も、華美にならないようにしてください。
- ④ 小アンサンブルの規模が大きくなりすぎて、練習場所に困るほどの大グループにならないように、また、子どもたちが自主的に教室やご家庭で練習できる範囲を超えないようにしてください。音楽室での練習については、下の注意事項を読んでください。基本的には、練習は自宅や自教室で、音楽室ではリハーサルとして1~2回程度になります。
- ⑤ ミニコンサートを通じて「音楽の仲間」を見つけられるといいですね。せっかくのミニコンサートが仲違いの種になどなることのないように、よく相談してください。
- ⑥ 上の学年の演奏を聴かれる時は、下の学年のお子さまも一緒に音楽室に再入室して、親子で演奏を聴いてください。

では、ルールを守って楽しいコンサートにしましょう。みなさんの楽しい企画を待っています。

音楽室が空いている時間帯(パウゼや放課後など)は練習にきてくださってかまいませんが、ピアノや場所を独占せず、譲り合って使ってください。また、直前の練習は、会場準備や伴奏合わせのためできなくなることが多いので、個人の部で出演する人は、そのつもりで早めに自分なりのリハーサルを済ませておいてください。クラス発表については、音楽の授業中に練習やリハーサルをします。



